

○取組の概要

- 平成7年から農業生産、農産物加工・販売、観光農園やレストランなどの多角経営を展開
- ハーブを核としたまちづくり



【取り組むに至った経緯】

- 農業の担い手不足を補うために農業の組織化を図り、雇用の機会を作る必要があると考え、昭和62年に農事組合法人を設立

【生じた課題への対応方法】

- 加工(H元年から)・レストラン(H7年から)・観光ハーブ園(H7年から)などを加えた農業の6次産業化に取り組む

【取組の効果】

- 雇用人数:15人(H7)→50人(H21)
- 販売額:8千万円(H7)→5億8千万円(H21)
- 生産面積:米10ha 等→米18ha 等
- 地域の生産農家(20人)とタイアップしたり、地元への雇用の場を提供するなど、地域の活性化につながった。

【取り組む際に生じた課題】

- 稲作単作農業からの脱却と周年稼働農業体制の確立

【活用した支援施策(補助事業等)】

- アグリベンチャー支援事業
(H12 農林水産省)

【今後の展望】

- 地域の人々が豊かさを実感できる健康産業としての食文化を育み、ハーブで元気のあるまちづくり

成功のポイント！！

○ 地域を基盤にした事業展開

地域の生産農家とタイアップして米や野菜などの食材の安定供給体制を確立